

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC2131

動的なホスト設定プロトコル

〔 Dynamic Host Configuration Protocol 〕

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC2131に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC887, RFC1122, RFC1123, RFC951, RFC1256, RFC1534, RFC903, RFC1034, RFC1035
RFC1191, RFC792, RFC1497, RFC1700, RFC783, RFC1542

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、IP ネットワーク上でホストに設定情報を通知する枠組みを提供する、動的なホスト設定プロトコル（DHCP）について記述するものである。DHCP はブートストラッププロトコル（BOOTP）を基にしており、再利用可能なネットワークアドレスの自動割り当て能力と、付加的な設定情報の通知能力を追加したものである。DHCP は BOOTP リレーエージェントを模した動作を行うため、DHCP プロトコルは BOOTP との共存が可能である。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC2131 : 「Dynamic Host Configuration Protocol」